※『れきナビ』のメインページはこちら

八潮市沿革図(近世以降) 武蔵国 慶応4年(明治元、1868)7月10日、武蔵知県事管轄 市制施行に至るまで南埼玉郡 埼玉郡(初期は騎西郡) 明治2年(1869)正月13日、小管県(小菅県時代の戸籍区は第8区) 明治4年(1871)11月14日、埼玉県 下郷(「中郷」と「下郷」に細分する場合もある) 明治5年(1872)3月、埼玉県第1区 慶安2年(1649)~3年作成「武蔵田園簿」に八潮市域20か村記載*注1) 明治12年(1879)3月17日、南埼玉郡 ※同史料等にみる村名表記・石高変遷表はこちら(PDF) 後期の領主:中郷は主に幕領(代官)、下郷(狭義)は主に旗本領 はちじょうむら ※村事務所・戸長役場組合変遷表はこちら 八 條 村 松之木村連合 つるがそねから 鶴ケ曽根村 *注2)・ 明治17年(1884)7月14日布達*注9) 大字立野堀 こさくだむら を経て 小作田村 → 草加町(北足立郡) はちじょうむら ·八 條 村-昭和31年(1956)9月28日編入 いぐさむら 明治22年(1889)4月1日合併 伊 草 村 まつのきむら 松之木村 たてのほりむら <u>立</u> <u>野</u> <u>堀</u> <u>村 (現草加市)</u> — にちょうめむら 二町且村 きぞねむら 木 曽 根 村 伊勢野村連合 みなみかわさきむら 明治17年(1884)7月14日布達 かわさきむら 川 崎 村 南 川 崎 村 を経て 明治12年(1879)3月28日改称(郡内同一村名区別) しおどめむら やしおむら 潮 止 村 いせのむら 明治22年(1889)4月1日合併 伊勢野村*注3) しおまち おおぜむら 大 瀬 村 人 昭和39年(1964)10月1日町制施行 ·大<u>瀬新田*注4</u>) ——<u>古新田</u>(古新田村・新田村)・ 寛永4年(1627)分村(検地) ← 草加市稲荷町(旧立<u>野堀)・青柳町・柿木町の各一部を編入</u> けむ 村 *注5) 昭和42年(1967)6月1日 → 大字八條・小作田・松之木・伊草の各一部を分離(草加市へ) ばんばむら かみばんばむら 馬場村 上 馬 場 杜 なかばんばむら 近世初頭分村 *注6) しもばんばむら だいばらむら しお - 下 馬 場 村-- 大 原 村-人 四和47年(1972)1月15日市制施行 おおそねむら 大 曽 根 村 上馬場村連合 明治7年(1874)12月28日合併許可*注8) 明治17年(1884)7月14日布達 -大曽根(村)新田(平次右衛門組)-← 草加市稲荷町の一部を編入 宝暦2年(1752)検地 を経て 昭和54年(1979)4月1日 -大曽根(村)新田権兵衛組-ゃゎたむら ·<u>八 幡 村</u>-→ 大字伊草・松之木・小作田・柳之宮の各一部を分離(草加市へ) 宝暦3年(1753)検地 ※無民家 うきづかむら 明治22年(1889)4月1日合併 現在に至る やなぎのみやむら ※旧村名は大字として存続 柳之宮村 にしぶくろしんでん にしぶくろむら ------ 西 袋 新 田-西 袋 村 西袋村新田平次右衛門組 明治7年(1874)12月28日合併許可 宝暦2年(1752)検地 ※無民家 うしろやむら みなみうしろやむら 南後谷村-後 谷 村 明治12年(1879)3月28日改称(郡内同一村名区別)

【注】

- 1) 天正から慶長年中(1573~1615年)にほぼ市域の近世村落が成立したとされる(『川に抱かれて』213ページ)。
- 2) 鶴ケ曽根村は、近世初頭に分村した村であるとする説が存在する(『八潮市史 民俗編』139ページ)。
- ※鶴ケ曽根は中世地名(河関)。中世の河関については
- 3) 伊勢野村は、慶長17年(1612) 頃の検地を機に大瀬村より分村したとする説がある(『八潮市の文化財』第2号10ページ)
- 4) 古新田については、分村した当時は「大瀬新田」と称したとする説と、分村当時より「古新田」と称した(「大瀬新田」は分村前の 呼称)とする説がある。
- 5) 垳村は、近世初頭に大瀬村より分村したとする説がある(『広報やしお』第574号)
- 6) 慶長5年(1600)10月10日の上馬場村(「かミはんは」)年貢割付状(『平成2年度特別展解説 関東郡代伊奈氏文書展』32ページ)や同8
- 年(1603)10月12日の中馬場村(「中はんは」)年貢割付状(『八潮市史 史料編 近世 I 』史料2)が残されている。 7)西袋村は、古くは「柳之宮村西袋新田」と称し、寛永4年(1627)に柳之宮村より分村したとする説がある(『広報やしお』第526号) が、享和元年(1801)9月初稿・文化11年(1814)8月校定「西袋村百姓家譜序」(『八潮市史 史料編近世Ⅱ』史料34)には、「西袋村之 義ハ(中略一引用者注、以下同)開発も近村より格別遅く、天正・慶長(1573~1615年)之頃、干上場所へ百姓六軒出来、西ノ袋新田と 名附、慶長拾七年(1612) ニ御検地入(中略)寛永四(1627年) 卯御検地(中略) 元禄八亥(1695年) 御検地(中略) 其砌より名目西袋と相改 り」と記載されている。なお、「正保年中(1644~48年)改定図」(『新編武蔵風土記稿』)・慶安2年(1649)~3年作成「武蔵田園簿」 ともに「西袋村」とあり、元禄8年(1695)5月の訴状(柳之宮村との境界争論、『八潮市史 史料編近世 I 』史料48)には、「此度西袋 新田御検地御入被遊」と記載されている。
- 8)明治7年(1874)12月、埼玉県庁は内務省に合併を申請し、同月28日付で許可されている(『八潮市史 近代史料編I』史料43)。な
- お、「管轄沿革考」(『埼玉県史料叢書5 埼玉県史料五』)は、合併の日付を翌8年(1875)1月1日としている。 9)明治17年(1884)7月14日埼玉県甲第43号にて県内の戸長役場位置・所轄町村の改定が布達され、同日甲第44号にて数町村連合の戸長 役場は役場位置の町村名を用い「某連合戸長役場」と称することが布達された(『現行類輯埼玉県達全書』)。

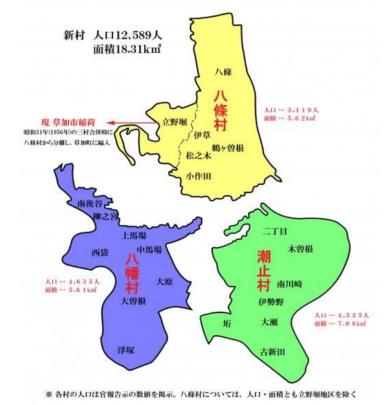
【関連項目】

- ・地図・絵図・航空写真にみる八潮周辺の変遷
- ・八潮市略年表
- 人口
- 而積
 ・十地利用
- 石高

- 遺跡(埋蔵文化財包蔵地)
- · 指定 · 登録文化財
- ・やしお
 - 中世

- 油計 寺院
- 学校
- ※八潮市立資料館の常設展示:展示テーマ「水と生活」についてはこちら(資料館ホームページへリンク)





八條領の近世村落図 出典:「Kinsei-sonraku.jpg」

三村合併八潮村成立図

※このファイルの履歴等については、「ファイル: Yashio enkaku. pdf」参照

【参考文献】

※ページ等は割愛

『八潮市史』等 *「刊行物一覧」(八潮市立資料館ホームページ) ヘリンク

- ・『八潮市史 通史編Ⅰ・Ⅱ』(八潮市役所、1989年) *目次(八潮市立資料館ホームページ)ヘリンク
- 『八潮市史 史料編 近世 I · II 』(八潮市役所、1984·87年)
- 近代 I · Ⅲ』(八潮市役所、1981·82年) 『八潮市史 史料編
- ・『八潮市史 史料編 現代 I』(八潮市役所、1985年)
- 『八潮市史
- 史料編 別巻潮止月報・八潮だより』(八潮市役所、1979年) 民俗編』(八潮市役所、1985年) ※目次(八潮市立資料館ホームページ)へリンク
- · 『八潮市近代史年表』(八潮市役所、1977年)
- ・『八潮市史調査報告書2・5・6 八潮の民俗資料 1~3』(八潮市役所、1980・82・83年) ・八潮市史編さん委員会編『川に抱かれて一八潮の歴史アルバム―』(八潮市立資料館、1994年) ・八潮市立資料館協議会編『八潮のふるさと新書1 小澤豊功』(八潮市、2001年)
- ・『八潮市史調査報告書3 八潮の行政文書目録 庶務・行政・財務編』(八潮市役所、1980年)
- ・『八潮市史調査報告書11 八潮の諸家文書目録1 大瀬高橋家文書』(八潮市役所、1985年)
- ・萩原龍夫「八潮市域の近世村落概況」(『八潮市史研究』創刊号、1978年)
- ※『八潮市史研究』目次はこちら(八潮市立資料館ホームページへリンク)
- ・渡辺隆喜「市町村制の施行と八潮地域」(『八潮市史研究』第2号、1980年)
- ・木村礎「近世の村」(『八潮市史研究』第6号、1987年)
- ・吉本富男「埼玉県内の地方自治の推進者たち」(『八潮市史研究』第11号、1992年)
- ・石山秀和「関東農村にみる寺子屋の意義―武蔵国埼玉郡八条領西袋村の場合―」(『八潮市史研究』第15号、1994年)
- ・八潮市教育委員会編集発行『八潮市の文化財』第2号(1986年)
- ・教育総務部文化財保護課企画・編集『八潮市の文化財ガイド』(八潮市教育委員会、2009年)
- ・『八潮市制施行20周年記念事業 第4回企画展 近代地方自治展』(八潮市立資料館、1991年)
- ※「過去の展覧会」(八潮市立資料館ホームページ)はこ
- ・『第18回企画展 記録~二十世紀の証言~』(八潮市立資料館、2000年) ・八潮市立資料館編集発行『第22回企画展図録 八潮が生まれた日』(2009年) *PDF(八潮市立資料館ホームページ)へリンク
- ・『開館20周年記念企画展 まちの履歴書―資料と写真でつづる八潮のあゆみ―』(八潮市立資料館、2009年)

『広報やしお』

- ·埼玉県地方課編著『埼玉県市町村合併史 上·下巻』(埼玉県自治研究会、1960·62年)
- ・『埼玉県市町村誌 第2・17巻』(埼玉県教育委員会、1972・79年)
- ・小野文雄監修『日本歴史地名大系 第11巻 埼玉県の地名』(平凡社、1993年)
- ・「角川日本地名大辞典」編纂委員会編『角川日本地名大辞典 11 埼玉県』(角川書店、1980年)
- ・『埼玉大百科事典 1~5』(埼玉新聞社、1974~75年)
- ・埼玉県編集発行『新編埼玉県史 資料編19 近代・現代1 政治・行政1』(1988年)
- ・埼玉県県史編さん室編『埼玉県史料叢書1 埼玉県史料一』(埼玉県県政情報資料室、1994年)
- 埼玉県教育委員会編『埼玉県史料叢書5 埼玉県史料五』(埼玉県、2001年)
- 『平成2年度特別展解説 関東郡代伊奈氏文書展』(埼玉県立文書館、1990年)
- ・小澤正弘著発行『関東郡代伊奈氏の研究2』(2009年)
- ・工藤航平「近世後期の葛西用水八条領組合の組織的変遷と地域意識」(『文書館紀要』第19号、埼玉県立文書館、2006年)
- · 北島正元校訂『日本史料選書15 武蔵田園簿』(近藤出版社、1977年)
- ・蘆田伊人編集校訂・根本誠二補訂『大日本地誌大系16 新編武蔵風土記稿 第10巻』(雄山閣、1996年)
- •福井保解題『内閣文庫所蔵史籍叢刊 第55・56巻 天保郷帳(一)・天保郷帳(二) 附元禄郷帳』(汲古書院、1984年) ・「天保国絵図」(国立公文書館デジタルアーカイブ (http://digital.archives.go.jp/)
- ·木村礎校訂『日本史料選書3 旧高旧領取調帳 関東編』(近藤出版社、1969年)
- · 埼玉県編『武蔵国郡村誌 第11巻』(埼玉県立図書館、1954年)
- ・埼玉県総務課員伊藤直・島崎広太郎・野村定長編『現行類輯埼玉県達全書』(埼玉県総務課、1886年)
- ・明治22年(1889)3月23日県令甲第7号「町村区域名称改定ノ件」(『県報』第302号、埼玉県)
- ・昭和31年(1956)9月28日自治省告示第461号「町村の廃置分合」(『官報』第8928号)
- ・昭和39年(1964)8月25日自治省告示第97号「村を町とする処分」(『官報』第11310号)
- ・昭和42年(1967)5月18日自治省告示第100号「市町の境界変更」(『官報』第12124号) ・昭和47年(1972) 1月10日自治省告示第1号「町を市とする処分」(『官報』第13513号)
- 昭和54年(1979)3月28日自治省告示第75号「市の境界変更」(『官報』第15656号)